

ると聞えて所縁あるを思ふべし第三座は諸説あれど淡村にある若宮八幡と云社是にて若宮は三島神の后神阿波神の御子神とす物忌奈命ならんと云るに因て縣の注進にも月間明神三島は手石村三島神 波咩命は吉佐美村若宮八幡 奈命は淡村と定めたるに従へり

加毛神社二座 稱加加茂神(明細帳加加茂神社とあり)

祭神

祭日 十月十九日

社格 下加 郷社(郷社)

所在 (賀茂郡南中村大字下賀茂)賀茂郷 下賀茂村

今按式社攷證に一座は下賀茂村鎮座加細明神と稱す豆志に云加細は社邊の地名是加茂神社二座の一也今に加茂明神とも稱へり云々一座は同郡加納村三島神社ならむか其は豆志三島明神村 此大祠にして加納二條石井三村の鎮守也云々上下賀茂村とは最近く地を接したる所にして舊同郷なること著く村里を分し時遷祀れる事月間明神と同例とみえたるが如くなるべし

○田方郡二十四座 大一座 小二十三座

荒木神社 稱鞍掛明神

祭神

文梨神社 稱天地明神

祭神

今按豆州志今阿米郡知明神或は左内明神とも云豐磐奈命にして伊波氏別命と三島大社御門左右の神也とあれど此社を左内明神と云ひ梅名村に右内明神ありて三島大社の南方三十許町の左右に相對して立玉へるより御門之神也と云傳へたるより云る説にて信がたし

祭日

社格 村社(明細帳左内神社とあり)

所在 (田方郡中の郷村大字中島)中島村 今屬君

今按豆志に君澤郡江梨村の社なりとし神名記に文を父に

作る共に衣の草書を誤りしなるべしと云るを式社攷證に同郡中島村天地明神なるべし其は神階帳にちなし其の明神とあればち、なしなること論無が此社地續きの中村にてなしの森あり是ち、なしの轉訛にて此邊の總稱なるが社傍に存れるものと思はるればなり舊今天地明神と稱ふは若くは天無志明神など書しを志を知に稱へて天無知明神と唱ふること成たらんも知べからずと云るに就て縣の注進狀にも此地と定めたる據ありて聞ゆれば之に従ふらん

輕野神社 稱狩明神

祭神

今按日本紀卷神に五年冬十月科伊豆國令造船長十丈船既成之誠浮于海便輕泛疾行如馳故名其船曰枯野とある枯野は即輕野にて此神社は此舟木を伐出せし時に祭れる神にやあらん

祭日

社格 村社(郷社)

所在 (田方郡中狩野村大字松ヶ瀬)松瀬村

今按國圖に田京村深澤社の處輕野神社ならむと載たれど隣里三福村熊野社の上梁文に狩野庄とあるに因しにて證なし又加殿村の神社なるべしと云るは村名の輕野に近く通ふより云るにて鎮座の神に考べき微傳はらず又一説に

倭文神社

祭神

祭日

社格

所在

今按この神社諸説一定ならず一説に君澤郡長伏村藏手明神なるべし豆志未定の部に載たれど神名帳に各社を載られたる序次は父梨輕野倭文高橋長濱とあるを神階帳にはち、なし狩野長濱と並載て倭文高橋を列ねず別處に高橋の明神くわとの明神を並出せるは彼狩野明神長濱明神の間より此二社を引抜て出したること知られて此くわとの明神倭文神社なること疑無ればなり又一説に國圖に大野